

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142J009		版画演習 (Seminar of Woodcut)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	3	教育学部			氏名 久間 清喜 E-mail kkuma@oita-u.ac.jp 内線												
授業の概要	凹凸版の技法として木版画とコラグラフィによる版画作品制作をおこない、版表現の基本的な技法と表現方法について学ぶ。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 版表現の基本的な知識を学び凹凸版による表現技法の原理を説明できる。																		
目標2 基礎的な技術を活用して、より高度で独自な作品制作ができる。																		
目標3 多様な版表現についてそれぞれの技法とその効果の特徴を概説できる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 版による表現技法																		
2 木版画用具と技法																		
3 下図制作																		
4 彫りの技術																		
5 彫りの技術の応用																		
6 刷りの技術																		
7 刷りのバリエーション																		
8 作品の装丁																		
9 作品鑑賞																		
10 コラグラフィについて																		
11 版制作																		
12 インクについて																		
13 プリント																		
14 プリントのバリエーション																		
15 作品鑑賞、まとめ																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	作品制作後に全員による作品鑑賞会を行う。そこで自分の作品についてプレゼンテーションを行う。また他人の作品について講評する。					工夫	その	他の									
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備	過去の版画作品について歴史や作家について予習する。(7h)																
	事後	作品制作では授業時間内で完了しない場合がある。各自で制作時間を持ち、作品内容を深める。(11h)																
教科書	適宜プリントを配布する。																	
参考書	適宜プリントを配布する。																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	作品	70%																
	鑑賞会発表	30%																
注意事項	基本的な道具は教室で準備する。作品制作に必要な材料、素材など各自で用意する。																	
備考																		
リンク	URL																	